



Waseda Initiatives for the Next Globalization Stage

早稲田発・グローバル社会への次なる貢献

【構想の目的・育成するグローバル人材像・概要】

本構想では、早稲田大学の全学部(13学部)の全ての学生(1学年約8,000名)に、広く世界に貢献する「グローバル人材」となる機会を作ることを目指す。本学の創設者である大隈重信が、1913年に「一身一家、一国の為のみならず、進んで世界に貢献する」と目指した本学の教旨が1990年代からの大学改革でも繰り返し確認され、今後においても、創立150周年(2032年)に向けた中長期目標である「Waseda Vision 150」においてもこの意思が引き継がれている。「Waseda Vision 150」では、「世界に貢献する志を持った学生」、「世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する早稲田の研究」、「グローバルリーダーとして喜びを持って汗を流す卒業生」を3つの柱とし、「教育・研究の質を飛躍的に向上させ、世界に貢献する大学であり続ける」ことを早稲田大学の中心的目標として提示している。

「グローバル人材」とは、世界・そして日本のいかなる場所・場面(Global, Regional, National, Local)においても、グローバルな視点を持って課題の解決に貢献する人材のことを指す。そうした人材は、幅広い知識や優れた知的能力(叡智)はもちろん、奉仕・勇気・チャレンジ精神等の高い精神性(志)、そして問題解決能力や物事を最後までやり遂げる力(実行力)を兼ね備えている必要がある。

本構想では、前述のグローバル人材の育成を目指し、本学学生の海外での国際的な学びと国内での国際的な学びの機会を、「学部生全員の海外留学」と「知識と実践の学びのスパイラル」によって量・質ともに飛躍的に拡充する。「学部生全員の海外留学」は、10年後の2022年度までに、全学部生(約8,000名)を卒業までに一度は海外への留学を体験させるというものである。「知識と実践の学びのスパイラル」とは、全学部生に海外留学の機会を与えるのみならず、全学共通教育センターを設置することによって、留学前には外国語教育を、そして留学後には世界の文化・歴史・社会を世界中の言語で学ぶ機会を提供する。

これらのほか、グローバル化を推進する学内体制の整備として、第三者評価委員会及び海外協定校をオブザーバーとして構想実施委員会を設置する。また、他大学のグローバル化を牽引すべく、「グローバル人材育成普及企画会議」を設け、国内外の大学をメンバーとし、グローバル人材育成プログラム及び大学の国際化推進のためのノウハウを、ワークショップやシンポジウムを通して積極的に提供していく。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

情報検討委員会を設置し、国内外には受験生や外部研究者・機関等情報の受け手側のニーズを調査し、海外には現地語による発信強化を図る。

○ 事務体制のグローバル化

日本以外の国・地域出身の職員を増やし、外国人教員・交換研究員の受け入れを支援する一元的なシステムを構築する。また、英語以外の需要の高い言語については、高度な語学力を有するスタッフを国際部門に配置し、多言語に対応した病気や子の就学、住宅斡旋等の支援も強化する。

■ グローバル人材として求められる能力の育成

本学の中長期計画として、「Waseda Vision 150」の策定に取り組んでおり、本構想で掲げるグローバル人材の育成を全学の最優先目標として位置づけている。組織改組やカリキュラム改革も視野に入れた取り組みを予定しており、学部や部局を超えた連携を進め、教育課程における相乗効果をより一層強めることとする。

○ 語学教育環境を充実させ、全学的な教育システムを構築し、英語による学位プログラムを新規導入するなど、入学から卒業までの体系的な語学教育プログラムを実施する。

○ 本構想において長期留学プログラムのみならず、1セメスター留学や短期留学プログラム、インターンシップやボランティア活動を組み入れた実践的な教育プログラムの拡充を図る。

○ グローバル・キャンパスの学生生活・環境整備を行い、課外活動のより一層の充実を図る。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価TOEFL等のスコアを入試の際に評価項目として取り入れ、入学志願者の留学経験や在外経験等を評価する

○ 効果的な語学教育及び教育体制

プレースメントテストによる習熟度別語学クラスの編成及び効果的な語学教育を大学の教務部が主導して、全学部学生が受験する仕組みを整える。また、習熟度別の英語クラスの設置に加えて、全学共通教育センターにおける語学教育の強化、様々な長期短期留学プログラムによる国際教育プログラムの推進、留学後の英語・その他外国語による教養・専門科目の提供を中心とした留学後のフォローアップ教育を行う。このほか、学生の語学力向上度の測定による教育効果の分析と語学教育へのフィードバックを実施し、外国語で論理的に説明し、他者と議論できる力を養成するための少人数語学教育の導入、留学先の大学で専門科目レベルの履修が可能なる力を養成するための留学前準備教育を設置する。

国際通用性向上のための取組

シラバスの充実・多言語化

→ディプロマ・ポリシーの見直し
将来的に英語・中国語での公開

ナンバリング全導入・体系的カリキュラム

→全学共通教育センターから導入
全学共通と各学部との教育補完

GPAとその活用

→成績評価の根拠と基準をさらに明確化

単位制度の実質化

→Course N@viシステムの活用
教員コマ数減による教育の質の向上

双方向授業、アクティブ・ラーニング

→CILTの設置
ボランティアセンター強化

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

国際公募による外国人教員の採用を推進し、海外での教育経験または外国語による教育経験のある教員を配置する。

○ グローバル教育力向上のための取組

学内における連携を強化し、教員の教育力を評価する取組を新たに取り入れる。ファカルティ・ディベロップメントを通して、海外の大学における教育活動の機会を設け、グローバル教育力向上を図る。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機づけや留学を促進するための取り組み

入学時から海外留学への動機付けを行い、留学に向けた学生の準備・計画作成の支援を行う。また、単位取得を伴う海外留学プログラム等の開発支援体制を強化させ、ラーニング・アグリメントや履修情報を事前に提供し、海外留学を促進する制度を整える。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

派遣留学中の学生に対しては緊急時のサポートやリスク管理体制を強化させるほか、帰国後には産業界との連携等による就職支援を行う。また、留学中から帰国後にわたって履修アドバイザー等を配置し、サポート体制を強化させる。

卒業・修了時に学生が習得すべき具体的能力

グローバルな視点を持って、“Global・Regional・National・Local”のどの場においても課題解決に貢献する人材として、「教智」、「志」、「実行力」の3つの能力・資質を持ち備えた人材の育成を目指す。

【教智】

- ・広い国際的教養
- ・異文化理解力
- ・高い専門性と分析力・考察力
- ・言語・コミュニケーション力
- ・自律的・批判的思考能力

【志】

- ・世界の平和と豊かさへの希求
- ・勇気・チャレンジ精神
- ・奉仕と感謝の心
- ・高い道徳心と倫理観
- ・アイデンティティ

【実行力】

- ・課題発見能力
- ・本質を見抜く洞察力
- ・人と協力し周囲をまとめる力
- ・物事を最後までやり遂げる力
- ・力強さ・タフさ

本構想において実現する達成目標

全学	2011	2012	2013	2014	2015	2016	
外国語力スタンダードを満たす学生数			2,102人	2,576人	3,179人	3,766人	
うち海外留学未経験者数(A)			670人	695人	730人	815人	
海外留学経験者数(B)	1,701人	1,848人	2,455人	2,907人	3,441人	3,997人	
卒業[予定]者数(C)	9,549人	10,720人	10,180人	10,180人	10,260人	8,900人	
比率((A+B)/C)			30.7%	35.4%	40.7%	54.1%	
政治経済学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 80		300人(10)	391人(15)	474人(20)	566人(30)
	海外留学経験者数	176人	205人	322人	392人	472人	562人
	卒業[予定]者数	983人	1,162人	1,000人	1,030人	1,030人	900人
法学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 71(WeTEC 700)		350人(220)	360人(175)	380人(180)	400人(185)
	海外留学経験者数	70人	90人	145人	190人	210人	230人
	卒業[予定]者数	794人	956人	800人	800人	800人	740人
教育学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 71(WeTEC 700)		177人(80)	240人(110)	300人(60)	360人(60)
	海外留学経験者数	63人	79人	111人	141人	251人	311人
	卒業[予定]者数	1,085人	1,305人	1,200人	1,200人	1,200人	960人
商学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 80(TOEIC 750)		130人(10)	200人(15)	350人(20)	500人(30)
	海外留学経験者数	234人	254人	305人	345人	405人	510人
	卒業[予定]者数	1,009人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	900人
社会科学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 71(WeTEC 700)		200人(100)	250人(100)	330人(100)	350人(100)
	海外留学経験者数	119人	133人	186人	211人	281人	361人
	卒業[予定]者数	712人	938人	880人	850人	930人	630人
人間科学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 71(TOEIC 675)		100人(5)	150人(5)	200人(5)	300人(5)
	海外留学経験者数	151人	155人	258人	308人	345人	405人
	卒業[予定]者数	611人	600人	600人	600人	600人	560人
スポーツ科学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 71(TOEIC 675)		80人(10)	120人(10)	180人(10)	225人(20)
	海外留学経験者数	118人	125人	158人	208人	265人	300人
	卒業[予定]者数	463人	450人	450人	450人	450人	400人
国際教養学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 100		325人(0)	325人(0)	325人(0)	325人(0)
	海外留学経験者数	537人	550人	580人	590人	600人	620人
	卒業[予定]者数	658人	650人	650人	650人	650人	620人
文化構想学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 80(WeTEC 755)		170人(70)	170人(30)	170人(30)	170人(10)
	海外留学経験者数	91人	95人	120人	157人	184人	206人
	卒業[予定]者数	900人	1,062人	1,000人	1,000人	1,000人	860人
文学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 80(WeTEC 755)		70人(5)	70人(5)	70人(5)	70人(5)
	海外留学経験者数	88人	106人	200人	280人	328人	362人
	卒業[予定]者数	736人	891人	800人	800人	800人	660人
基幹・創造・先進理工学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL iBT 71(TOEIC 675)		200人(160)	300人(230)	400人(300)	500人(370)
	海外留学経験者数	54人	56人	70人	85人	100人	130人
	卒業[予定]者数	1,598人	1,706人	1,800人	1,800人	1,800人	1,670人

※WeTECとはWeb-based Test for English Communicationの略称で、インターネットを利用した英語コミュニケーション能力判定テストである。株式会社教育測定研究所の作成するテストCASECを早稲田大学がより学部生に適合するように調整したものである。WeTECは、個人の能力に合わせてテスト問題を変化させていく適応型のテストシステムであり、従来のペーパーテストに比べて短時間で正確な測定が可能である。外国語スタンダードの一部に使用しているWeTECとTOEFL(iBT)との換算は、右記のように定めている。

WeTEC	TOEFL (iBT)
354 以上 524 未満	29 以上 48 未満
524 以上 595 未満	48 以上 57 未満
595 以上 648 未満	57 以上 64 未満
648 以上 755 未満	64 以上 80 未満
755 以上	80 以上